

5 秋葉区

5-6 小須戸中学校区（山の手コミュニティ協議会、小須戸小学校区コミュニティ協議会）

【概要】

① 地域概況、動向

- ・ 県道1号沿いに住宅地が広がっており、公共施設が多く立地している。また、東部にもJR矢代田駅を中心とした住宅地がある。
- ・ 小学校区2校区で構成されており、中心部は水田が広がる田園地帯となっている。

② 将来推計人口【図-1】

- ・ 人口減少、少子高齢化が進む。



③ 利用状況、コスト状況及び施設の老朽状況【表-1】

施設種類	施設名	ハード		ソフト		
		老朽化が進んでいる	耐震性に課題がある	コストが高い	利用が少ない・面積が大きい	
		償却率が75%以上か	耐震化率が50%未満か	コスト(※1)が類似施設の平均と比べ高いか	利用率(※2)が該当する類似施設の平均と比べ低い	利用量(※3)が該当する類似施設の平均と比べ大きい
①コミュニティ系施設	小須戸地区ふれあい会館				●	
	新保地域研修センター	●			●	
	鎌倉地域研修センター	●			●	
	小須戸まちづくりセンター					
	小須戸地区公民館					
③図書館	小須戸地区図書室			●	●	
④スポーツ施設	小須戸体育館	●				●
	小須戸武道館			●		●
⑤ひまわりクラブ	小須戸ひまわりクラブ	●		●		
	矢代田ひまわりクラブ			●		●
⑥子育て支援施設	矢代田保育園子育て支援センター			●		
⑦高齢者福祉施設	小須戸老人福祉センター	●		●		●
⑨幼稚園	小須戸幼稚園	●		●		
⑩保育園	小須戸保育園					
	矢代田保育園					
⑪学校教育施設	矢代田小学校					
	小須戸小学校	●				●
	小須戸中学校					

- ※1 コスト評価の指標：純経費/利用者数…①④⑥⑦、純経費/貸出図書数…③、純経費/児童数…⑤⑪（小学校）、純経費/園児数…⑨⑩、純経費/生徒数…⑪（中学校）
- ※2 利用率評価の指標：利用コマ数/利用可能コマ数…①、貸出図書数/蔵書数…③
- ※3 利用量評価の指標：㎡/児童数…⑤⑪（小学校）、利用者数/㎡/日…④（屋内）⑥⑦、㎡/園児数…⑨⑩、㎡/生徒数…⑪（中学校）

④ 将来に向けた検討事項

- I の考え方を基本に、II のそれぞれのサービス機能ごとの考え方に基づいて最適化を検討する必要がある。
- I 共通の方針に基づく検討事項
 - ・ 誰もが利用できる地域密着施設は将来的に原則1か所を目指しつつ、圏域の広さや施設利用率、人口等を勘案し集約化、複合化を図る。
 - ・ 特定目的の施設は誰もが利用できる地域密着施設との集約化、複合化を目指す。
- II 施設種類ごとの配置方針に基づく検討事項
 - 【コミュニティ系施設】
 - ・ 小須戸地区ふれあい会館、新保地域研修センター、鎌倉地域研修センター、小須戸まちづくりセンター（小須戸地区公民館と複合）は、配置方針に基づき、原則地域に1施設をめざし、集約化の可能性を検討する必要がある。
 - 【図書館】
 - ・ 小須戸地区図書室は、配置方針に基づき予約本受取サービスへの転換や地域移管等を検討する必要がある。
 - 【スポーツ施設】
 - ・ 小須戸体育館、小須戸武道館は、地域に密着したスポーツ施設であり、施設の利用状況や老朽度などを勘案しながら、施設の集約化や学校体育施設との相互利用などを検討する必要がある。
 - 【子育て支援施設】
 - ・ 矢代田保育園子育て支援センターは、配置方針に基づき、「基幹保育園」の整備に併せて、子育て支援センター機能の複合化や集約化を検討する必要がある。
 - 【高齢者福祉施設】
 - ・ 小須戸老人福祉センターは、配置方針に基づき、多世代交流が可能な地域拠点施設への機能移転を検討する必要がある。
 - 【幼稚園】
 - ・ 小須戸幼稚園は、配置方針に基づき廃止する。
 - 【保育園】
 - ・ 小須戸保育園、矢代田保育園は、配置方針に基づき、地域の教育・保育をけん引する役割や子育てにおける地域のセーフティネットの役割を果たす市立の「基幹保育園」として存続していくか、民営化を進めるかを検討する必要がある。
 - 【学校教育施設】
 - ・ 小須戸小学校、矢代田小学校、小須戸中学校は小規模校であることから、配置方針にも掲げた学校の適正規模の考え方に基づき、適正配置を検討する必要がある。併せて、当面の施設の効率的な利用を目指し、教育活動や学校運営に支障のない範囲で余裕教室の利活用を検討する必要がある。また、施設の統廃合による更新時期に合わせて、市民の利便性の向上や効率的な管理・利活用につながる多機能化・複合化の検討が必要である。

■ 将来推計人口【表-2】（H28.9月末現在の住民基本台帳からの推計）

	H28(実績)	R8	R18	R28	増減(増減率)	
地域全体	9,769 人	9,098 人	8,212 人	7,246 人	▲2,523 人	▲25.8 %
高齢者(65歳以上)	2,997 人	3,067 人	3,011 人	2,806 人	▲191 人	▲6.4 %
生産年齢(15~64歳)	5,666 人	5,005 人	4,352 人	3,676 人	▲1,990 人	▲35.1 %
年少(14歳以下)	1,106 人	1,026 人	849 人	764 人	▲342 人	▲30.9 %

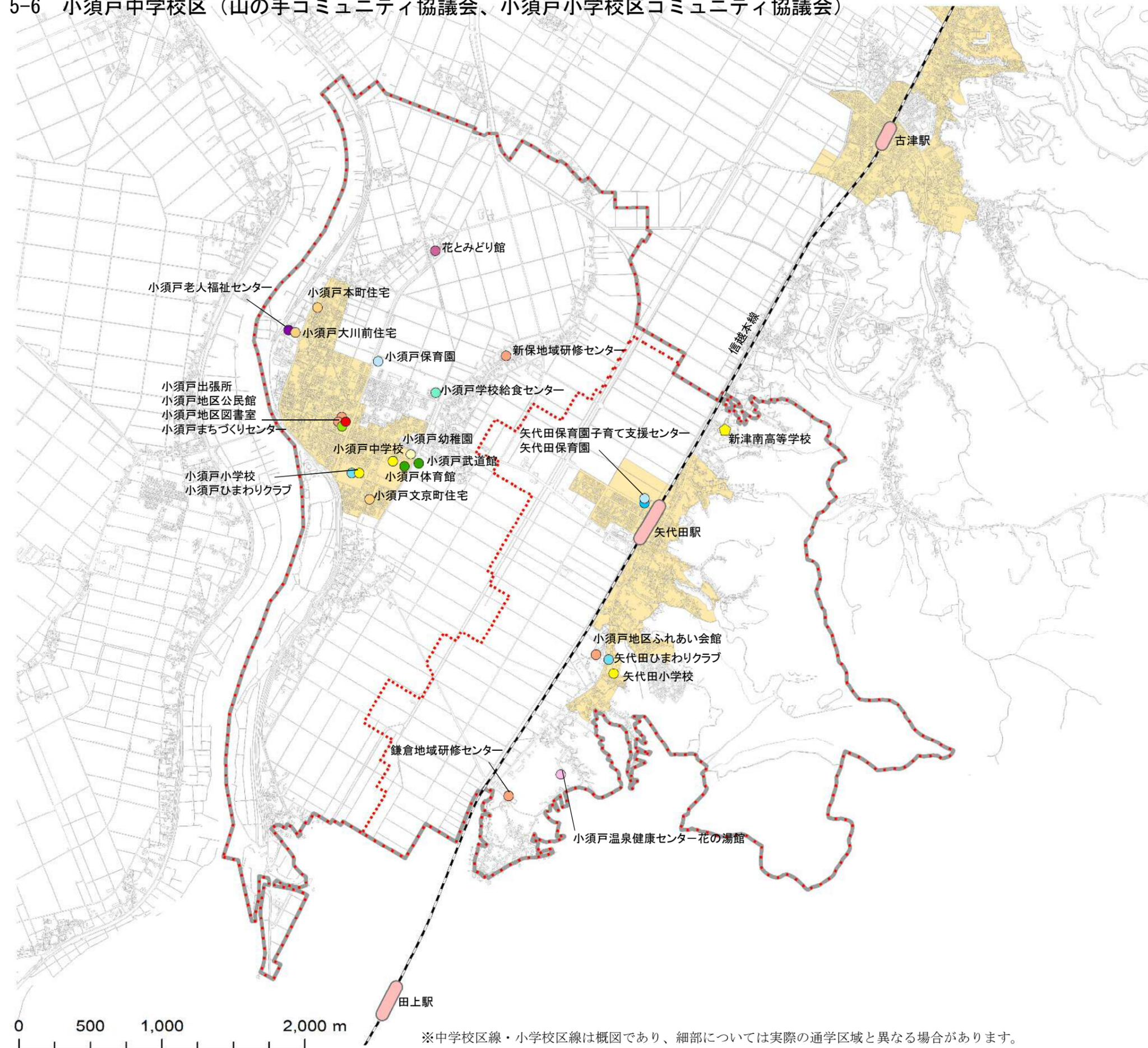
■ 児童生徒・学級数推計(通常学級)【表-3】

校名	R1(実数値)		R7(推計値)		増減	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
小須戸小学校	230	8	216	7	▲14	▲1
矢代田小学校	198	8	158	6	▲40	▲2
小須戸中学校	228	7	209	7	▲19	0

※精査の結果、今後数値や図表などの記載事項が変更されることがあります。

5 秋葉区

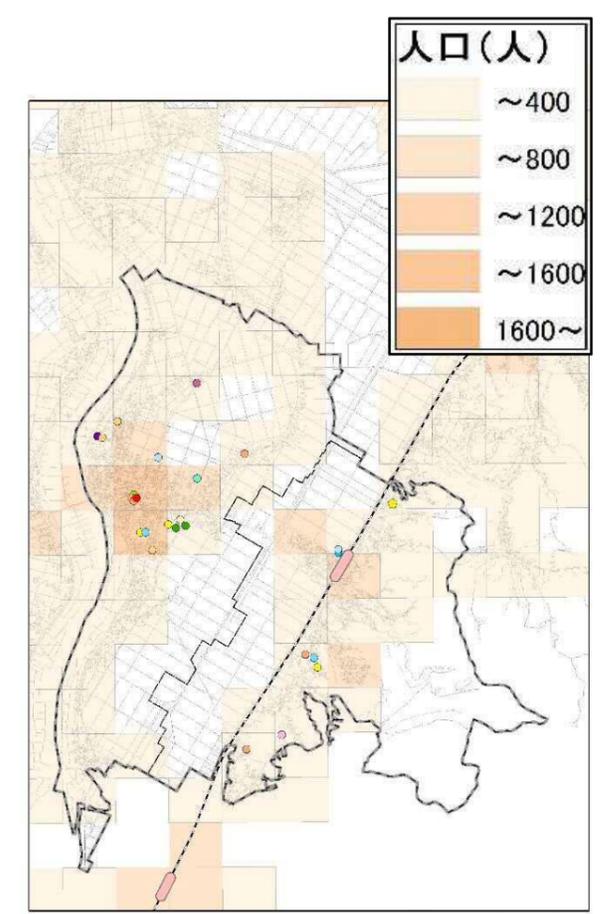
5-6 小須戸中学校区 (山の手コミュニティ協議会、小須戸小学校区コミュニティ協議会)



凡例

- コミュニティ系施設
 - 図書館
 - スポーツ施設
 - ひまわりクラブ
 - 子育て支援施設
 - 高齢者福祉施設
 - 幼稚園
 - 保育園
 - 学校教育施設
 - 公営住宅
 - レクリエーション施設
 - 保養施設
 - 教育系施設
 - 庁舎系施設
 - 学校教育施設(県保有施設)
- ⋯ 小学校区
 - ▭ 中学校区
 - ▭ 都市機能誘導区域
 - ▭ 居住誘導区域

平成27年国勢調査
人口分布図 (500mメッシュ)



※中学校区線・小学校区線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

5 秋葉区

5-6 小須戸中学校区（山の手コミュニティ協議会、小須戸小学校区コミュニティ協議会）

■ 施設一覧【表-4】

施設分類	分析分類 ※1	施設名	施設基本情報						配置情報					コスト・利用情報							
			圏域 区分	複合 施設	建築年	償却率 (%) ※2	耐震化 (%)	想定 更新 時期 ※3	使用面積 (㎡)	用途地域	コミュニティ 協議会	避難所 ※4	危険区域			コスト		利用率・利用量			分析 領域
													土砂	津波	洪水	実績(全市平均)		偏差値	実績(全市平均)		
コミュニティ系施設	B	小須戸地区ふれあい会館	Ⅲ. 地域		H2	52	100	R32	1,277.00		山の手	○				324.0 円/人/回 (928.1)	54.5	14.4 % (26)	-	42.9	2
コミュニティ系施設	B	新保地域研修センター	Ⅲ. 地域		S56	100	98	R23	331.00		小須戸小学校区	○			○	282.0 円/人/回 (928.1)	54.8	5.1 % (26)	-	37.3	2
コミュニティ系施設	B	鎌倉地域研修センター	Ⅲ. 地域		S62	84	100	R29	256.30		山の手	○				290.0 円/人/回 (928.1)	54.7	6.2 % (26)	-	37.9	2
コミュニティ系施設	B	小須戸まちづくりセンター	Ⅲ. 地域	1	H9 ~ H26	11	100	R56	1,548.49		小須戸小学校区	○			○	339.0 円/人/回 (928.1)	54.4	28.6 % (26)	-	51.4	1
コミュニティ系施設	B	小須戸地区公民館 ※5	Ⅲ. 地域	1	H9 ~ H26	11	100	R56	-	一種住居	小須戸小学校区				○	-		-	-		
図書館	D	小須戸地区図書室	Ⅲ. 地域	1	H9 ~ H26	11	100	R56	100.40		小須戸小学校区				○	419.0 円/冊 (346.7)	47.5	1.2 倍 (1.9)	-	46.0	4
スポーツ施設	E	小須戸体育館	Ⅲ. 地域		S45	99	100	R12	2,171.00	一種住居	小須戸小学校区	◇			○	199.0 円/人/回 (597.1)	56.2	64.8 人/日 (292.5)	3.0 人/100㎡/日 (5.7)	39.6	2
スポーツ施設	E	小須戸武道館	Ⅲ. 地域		H26	15	100	R56	598.54		小須戸小学校区	◇			○	1,457.0 円/人/回 (597.1)	35.5	30.1 人/日 (292.5)	5.0 人/100㎡/日 (5.7)	47.5	4
ひまわりクラブ	L	小須戸ひまわりクラブ	Ⅲ. 地域	2	S54	100	100	R1	117.59		小須戸小学校区					15.3 万円/人/年 (14.7)	48.5	2.1 ㎡/児童数 (2.6)	-	55.7	3
ひまわりクラブ	L	矢代田ひまわりクラブ	Ⅲ. 地域		H20	-	100	R50	115.93	一種住居	山の手					16.7 万円/人/年 (14.7)	44.9	2.8 ㎡/児童数 (2.6)	-	48.1	4
子育て支援施設	N	矢代田保育園子育て支援センター	Ⅲ. 地域		H21	41	100	R31	100.20	一種住居	山の手				○	2,082.0 円/人/回 (1476.8)	37.9	21.6 人/日 (51.9)	21.6 人/100㎡/日 (19.6)	50.0	3
高齢者福祉施設	O	小須戸老人福祉センター	Ⅲ. 地域		S52 ~ H5	80	97	R19	749.02		小須戸小学校区	○			○	2,437.0 円/人/回 (952.1)	34.9	25.0 人/日 (51.8)	3.3 人/100㎡/日 (11.5)	37.2	4
幼稚園	J	小須戸幼稚園	Ⅲ. 地域		S47 ~ H28	98	100	R14	707.55	一種住居	小須戸小学校区	◇			○	127.0 万円/人/年 (120.1)	48.3	19.7 ㎡/人 (20.4)	-	51.2	3
保育園	K	小須戸保育園	Ⅲ. 地域		S58 ~ H12	57	100	R25	1,179.00		小須戸小学校区	○			○	83.8 万円/人/年 (115.5)	59.8	7.4 ㎡/園児数 (9.2)	-	57.0	1
保育園	K	矢代田保育園	Ⅲ. 地域		H21	41	100	R31	667.66	一種住居	山の手	○			○	114.5 万円/人/年 (115.5)	50.3	6.1 ㎡/園児数 (9.2)	-	62.0	1
学校教育施設	H	矢代田小学校	Ⅲ. 地域		S53 ~ S58	57	100	R20	4,216.26	一種住居	山の手	○				69.7 万円/人/年 (83.6)	53.2	20.8 ㎡/人 (24.4)	-	52.3	1
学校教育施設	H	小須戸小学校	Ⅲ. 地域	2	S60 ~ S61	78	100	R27	6,573.61	一種住居	小須戸小学校区	○			○	74.2 万円/人/年 (83.6)	52.2	28.0 ㎡/人 (24.4)	-	47.7	2
学校教育施設	I	小須戸中学校	Ⅲ. 地域		S38 ~ H25	50	95	R49	6,596.80	一種住居	小須戸小学校区	○			○	83.4 万円/人/年 (91.6)	52.1	27.8 ㎡/人 (31.3)	-	51.8	1
レクリエーション施設	G	花とみどり館	Ⅲ. 地域		H4 ~ H18	58	100	R47	2,549.29		小須戸小学校区				○	93.0 円/人/回 (297.6)	59.9	1,055.1 人/日 (324.4)	-	60.9	1
保養施設	G	小須戸温泉健康センター花の湯館	Ⅲ. 地域		H7 ~ H8	82	100	R37	1,048.30		山の手	○	○			250.0 円/人/回 (297.6)	53.0	360.5 人/日 (324.4)	-	46.6	2
教育系施設	S	小須戸学校給食センター	Ⅲ. 地域		H6	68	100	R36	872.65	準工業地域	小須戸小学校区				○	471.0 円/食 (327.4)	37.8	602.5 食数/日 (1206.4)	-	41.6	4
庁舎系施設	Q	小須戸出張所	Ⅲ. 地域	1	H9	44	100	R39	633.82	一種住居	小須戸小学校区				○	5,368.0 円/人 (5655.1)	50.9	63.4 ㎡/人 (176.5)	-	61.1	1
公営住宅	-	小須戸本町住宅	-		H2 ~ H3	63	100	R32	1,032.38	一種住居	小須戸小学校区				○	-		-	-		
公営住宅	-	小須戸文京町住宅	-		S51 ~ H23	54	99	R32	5,648.05	一種住居	小須戸小学校区				○	-		-	-		
公営住宅	-	小須戸大川前住宅	-		H9	46	100	R39	1,618.15		小須戸小学校区				○	-		-	-		

【記載の条件】一覧表掲載情報は、令和2年4月1日現在で財産白書の対象施設を掲載しています。また、コスト・利用情報は、令和元年度財産白書別冊から引用しています。

※1 分析分類欄の英字は、施設のコスト、利用を比較する現状分析の分類を表し、「地域別検討資料について」の「表① 用途分類別分析指標と現状分析の分類」から引用しています。

分析分類欄が「空白」の施設は平成30年度以降に新設又は新規調査した施設であり、現状分析の対象とはならないものの参考として施設情報を掲載しています。

※2 償却率は「減価償却累計額/再調達価額×100」により算出しており、財産上の残存価値（耐用年数からの経過）の基準とし建物老朽化の目安としています。

※3 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と想定して算出しています。

※4 指定避難所を「○」印、補助避難所を「◇」印で表記しています。

※5 小須戸地区公民館は条例が重複している施設のため、面積やコスト・貸室の利用率等を分けることができないことから、面積及び分析は小須戸まちづくりセンターにまとめています。

■ その他の施設【表-5】

地域内の国県施設	新津南高等学校
地域内の民間類似施設	該当なし